



城上幼稚園だより

「山と川と人とつながるたくましい子ども」

令和6年12月20日（金）発行

TEL 30-2155

すくすく

「やりきった、心に残る2学期」

園長 米丸 寛之

1年間で1番に長い学期である2学期が無事に終わりました。5年ぶりの地区民合同運動会、学習発表会、持久走大会など様々な活動が次々に行われましたが、子どもたちは、その都度、取り組んできた成果を存分に発揮してくれました。普段の生活と併せて、たくましく成長している姿をたくさん見せてくれた、ファイブ・スター1人1人が光り輝いた2学期だったと思います。

保護者や地域等の皆様には、様々な面で園に対する御理解と御協力をいただき、大変お世話になりました。ありがとうございました。

いよいよ冬休みになります。子どもたちが楽しみにしているクリスマスやお正月など催し物や計画がいっぱいのことだと思いますが、ぜひ、年末の大掃除や迎春準備、年始の行事など子どもたちに家族の一員としての役割も与えていただき、一緒に楽しみながら過ごしていただければと思います。良いお年をお迎えください。

＜令和7年度以降の城上幼稚園についてのお知らせ＞

薩摩川内市立幼稚園の統廃合については、薩摩川内市教育委員会からの説明がこれまで何度か行われてきたところですが、「薩摩川内市幼稚園適正規模等基本方針」に基づき、本園は、令和7年度以降「休園」ということになりました。昭和49年4月1日に開園して創立50周年を迎え、歴史と伝統を築いてきましたが、園児の減少や来年度の募集状況により決定しました。

これまで本園に関わってくださった皆様には、大変感謝しております。残り3ヶ月、職員一丸となって、5人の園児のために努めていきたいと思っています。

「親子20分間読書」運動～本がひらく わたしの未来～

今年読まれた本の中で印象に残られた本はありますか？

令和6年11月29日、出版物の取次ぎをしている日本出版販売が、11月19日までの1年間の本の売り上げをまとめたランキングを発表し、報道されました。

最も売れた本は、家の間取りの謎に迫るミステリー小説『変な家2』で、日販は「今年はシリーズ本が多くランキングし、ドキュメンタリーのように見せかけて物語が進行する『モキュメンタリー』と呼ばれる表現方法が話題となった」と分析していました。5位までを紹介します。

- ① 変な家2
- ② 大ピンチずかん2
- ③ 成瀬は天下を取りにいく
- ④ 大ピンチずかん
- ⑤ 変な家



②と④にランキングされた「大ピンチずかん」は、表紙絵が可愛く、「君は、ガムを飲んじゃったことはあるかな？」「シャンプーが目に入ったことは？」など、子どもが（大人も？）出会う世の中



の様々な大ピンチをユーモア交えて解き明かしていく本です。私はまだ読んでいませんが、商品紹介を読んだだけでも親子で楽しく読書できるのではないかなあと興味をもちました。

私にとって今年印象に残った本は、先月紹介した「35年目のラブレター」です。家族の1人としてこれまでの人生と今後の人生について考える貴重な機会を与えてくれました。

本は、1年間に約7万冊が出版されるようです（2019年調査）。令和7年が、皆さんにとってステキな本にもっともっと出会える1年になれることを願います。

